



令和5年4月26日（水）岐阜県発表資料

担当課	担当係	担当者	電話番号
博物館	自然係	武藤 正樹	代表 0575-28-3111 内線 304 FAX 0575-28-3110

## 「新時代を駆け抜けた植物学者—<sup>まきの とみたろう</sup>牧野富太郎、<sup>みよしまなぶ</sup>三好学、<sup>いいぬまよくさい</sup>飯沼慾齋—」 をミニ企画コーナーで展示します

牧野富太郎は日本の植物分類学の父と呼ばれ、マキノの名がつく植物が数多くあります。

三好学は、天然記念物の制定に尽力し、多くの自然を守るしくみを作りました。

飯沼慾齋は近代植物学を取り入れて草木図説を執筆し、後の研究者にも大きな影響を与えました。

当ミニ企画コーナーでは、ドラマのモデルとして話題の牧野富太郎と、岐阜にゆかりのある2人の植物学者、牧野と同時代を生きた三好学、近代植物学の先駆けといわれる飯沼慾齋について、植物標本等の資料を通して紹介します。ぜひ、ご来場ください。



マキノスミレ

- 1 期 間 令和5年4月29日（土・祝）～9月30日（土）  
9：00～16：30 ※入館は16：00まで
- 2 会 場 岐阜県博物館 本館3階自然展示室2（関市小屋名1989）
- 3 入 館 料 一般340円（280円）、大学生110円（50円）、高校生以下無料  
（7月7日（金）からは特別展開催中のため、一般600円（520円）、  
大学生300円（200円）） ※（ ）内は団体料金
- 4 休 館 日 毎週月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日）
- 5 問い合わせ先 岐阜県博物館（電話番号：0575-28-3111（代））  
<https://www.gifu-kenpaku.jp/>
- 6 展 示 資 料
  - （1）植物学の先駆者「飯沼慾齋」
    - ・飯沼慾齋から始まった植物分類学について紹介します。
  - （2）天然記念物の祖「三好学」
    - ・三好学が守った自然や業績について紹介します。
  - （3）植物の分類を広めた「牧野富太郎」
    - ・牧野富太郎の名をもつ植物について紹介します。

岐阜県博物館

検索